

目次

建設機械工業躍進の好機……………加藤三重次… 1

トルクコンバータおよび流体継手とその応用……………鈴岡 奨… 2

トルクコンバータ付ブルドーザについて……………水本忠明… 7

トルクコンバータ付シヨベルの経済性に関する資料……………伊丹康夫…10

欧米の高速道路……………藤森謙一…12

ロードスタビライザの試作……………星 埜 和
森 麟…15
上田嘉男

コンクリート舗装の目地切りに
用いた国産カツタブレードについて……………植原文弥…21

機械開墾作業について……………玉村英夫…25

小型機関車の最近の傾向について……………酒井智好…29

エンジン潤滑油のスポットテストについて(第2報) ……佐藤恒男…31

「連載講座」現場技術者に必要な電気の知識(その5) ……梅村 宏…34

「工場をたずねて」油谷重工広島工場訪問記……………中村慶一…37

ニ ユ ー ズ……………39

行事一覧・編集後記……………40

◇表紙写真説明◇

ダイハツ工業株式会社製

ダイハツ バイブレーション ローラ

ダイハツ工業株式会社ではさきにハンドガイド型ローラを発表以来関係官公署、建設業各位に好評をいただき納入しているが、今回これに引続き完成したタンデム型を発表して非常な関心を惹き起している。本機は次のような特長をもっている。

特 長

- (1) ローラ内に設けた起振装置により高次でかつ強力な振動力を発生し自重の数倍の輻圧能力を有する。
- (2) 振動数を変更して輻圧力を変えられるから場所、土質、作業内容に応じて最も適した作業ができる。また本機はアスファルトの輻圧、仕上も高能率でなし得るので路床、路盤の輻圧から舗装の仕上げまで1台でできる。
- (3) 小形軽量で、操縦者の手もとに前後進、振動、撒水等のレバーをあつめてあるので運転が極めて簡単であり、かつ回転半径が小さいので狭隘な場所の作業が容易である。遠距離の移動は自走のほか、中型トラック、三輪自動車に自走によって積み卸しが簡単にできる。
- (4) 以上のほか、登坂力も充分で傾斜面の作業ができ、防振装置は完全で作業者の疲労度は少く、構造は堅牢で故障はなく、価格の低廉、単位面積当りの運転経費は従来のロードローラに比し数分の1で済む等の特長がある。

仕 様

	ハンドガイド型		タンデム A型		ハンドガイド型		タンデム型	
自重		1.6 t		2.4 t	後輪の直径×幅	350mm×350mm(補助輪)	600mm×750mm(操向用)	
主要寸法	全長	約 3,700 mm		約 2,515 mm	原 動 機	ダイハツディーゼル機関 連続定格出力 7.5PS(1500rpm)		
	全幅	約 1,315 mm		約 1,315 mm	速 度	15-30 m/min(前後進共)		
	全高	約 1,370 mm		約 1,625 mm	輻圧能力	5~15		
前輪の直径×幅	750mm×900mm(振動用)		750mm×900mm(振動用)					